

保護者各位

福島県立修明高等学校長 郷 清隆

令和3年度学校評価アンケートの結果について

厳寒の候、保護者の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、11月に実施いたしました学校評価アンケートにつきましては、御多用中のところ御協力いただきまして誠にありがとうございました。結果について、下記のとおり報告いたします。今回の結果をもとに、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと存じます。

記

- 1 実施期日 令和3年11月5日～11月19日
- 2 有効回答数及び回収率
保護者322名(92.5%)、生徒343名(98.6%)、教職員51名(100%)
- 3 調査結果 本紙右面及び裏面を御参照ください。
- 4 結果の分析の概要(「よく当てはまる」または「ほぼ当てはまる」を高評価としています。)

分野1：専門性の深化

保護者の回答のうち、「わかりやすい授業」の項目がやや低かったが、それ以外の回答は、保護者、生徒、教職員ともに、概ね8割～9割程度の高い評価であった。

分野2：最適解の探究

保護者、生徒、教職員ともに、「進路情報の提供」「進路希望に応じた指導」「進路意識の啓発」について、概ね高い評価であった。一方で、「主体的に学ぶ態度」の項目は、保護者、生徒、教職員ともに低い評価であった。

分野3：地域への貢献

「地域との連携」の項目は、保護者、生徒、教職員ともに高評価であった。一方で、「主体的に地域と関わる態度」については、いずれも低い評価となっている。また、「PTA活動への参加」の項目は、保護者及び生徒の評価が低い結果となった。「情報発信」の項目は、教職員の評価が高かったのに対して、保護者は7割台と評価が分かれる結果となった。

分野4：共生への視点

保護者、生徒、教職員ともに、「学校行事」「基本的生活習慣」「規範意識」の評価が高かった一方で、「部活動等」の評価が7割台であった。保護者の回答では、「教育相談」の項目が7割弱となっており、教職員や生徒の回答と評価が分かれる結果となった。

その他

「家庭学習時間」の項目は、保護者、生徒とも1時間未満の回答が最も多い。教職員の課題を出す頻度も調査前の回答が最も多い。保護者及び生徒の「満足度」は高い結果となった。

全体を通して

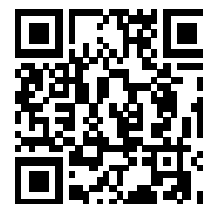
今回の結果により、学習の態度や地域への関わりなど生徒の主体性の育成に課題があることがわかりました。新しい学習指導要領において、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ態度」が新しい学力観として重要になってまいります。今回の結果を踏まえて、引き続き、授業改善や学校行事の活性化等に取り組んでまいります。また、御不明な点などがございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

5 その他

本調査結果、自由記述に記載のあった御意見に関する回答など、学校評価アンケートの詳細は、本校のホームページに掲載しております。

また、各学科の紹介動画なども掲載されておりますので、ぜひ御覧ください。

→ <https://shumei-h.fcs.ed.jp/> (右のQRコードを御利用ください)

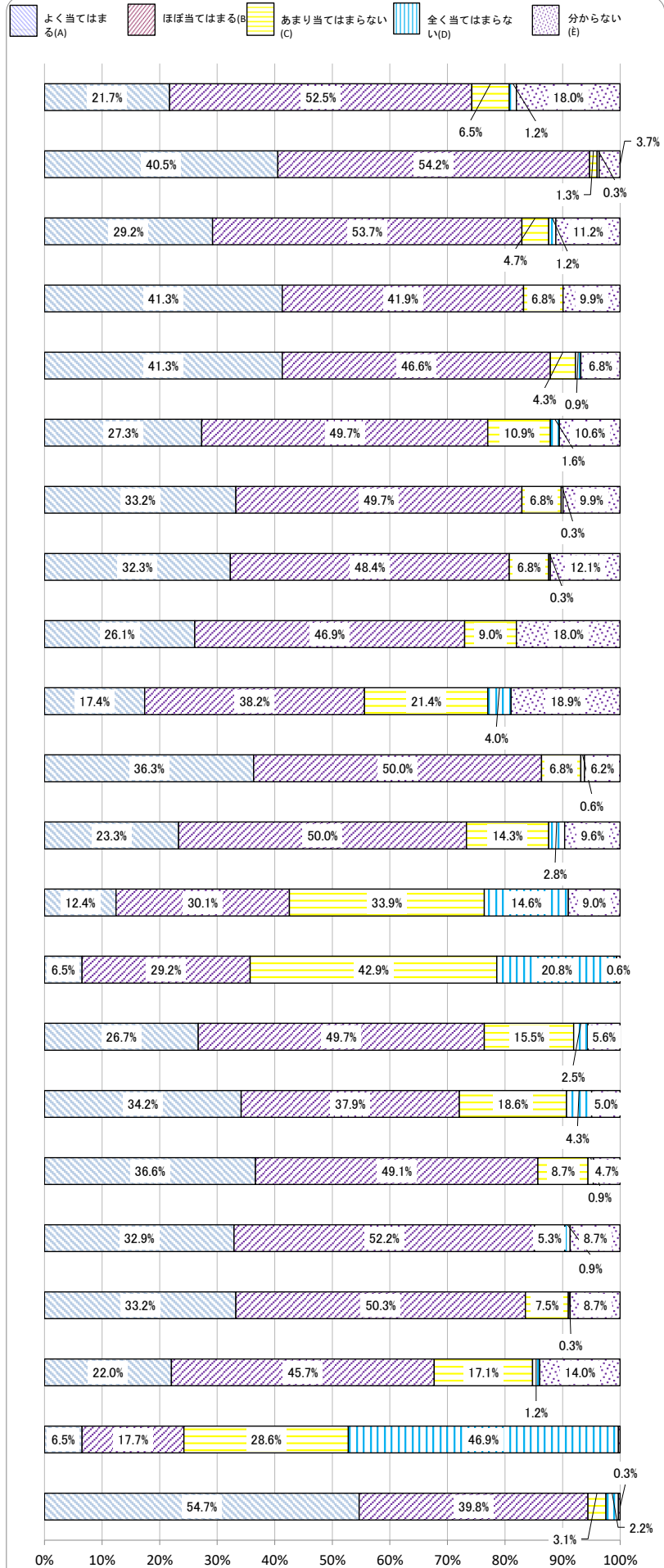


学校運営に関する調査結果（保護者）

令和3年11月5日～19日実施

有効回答数 322名 回収率 92.5%

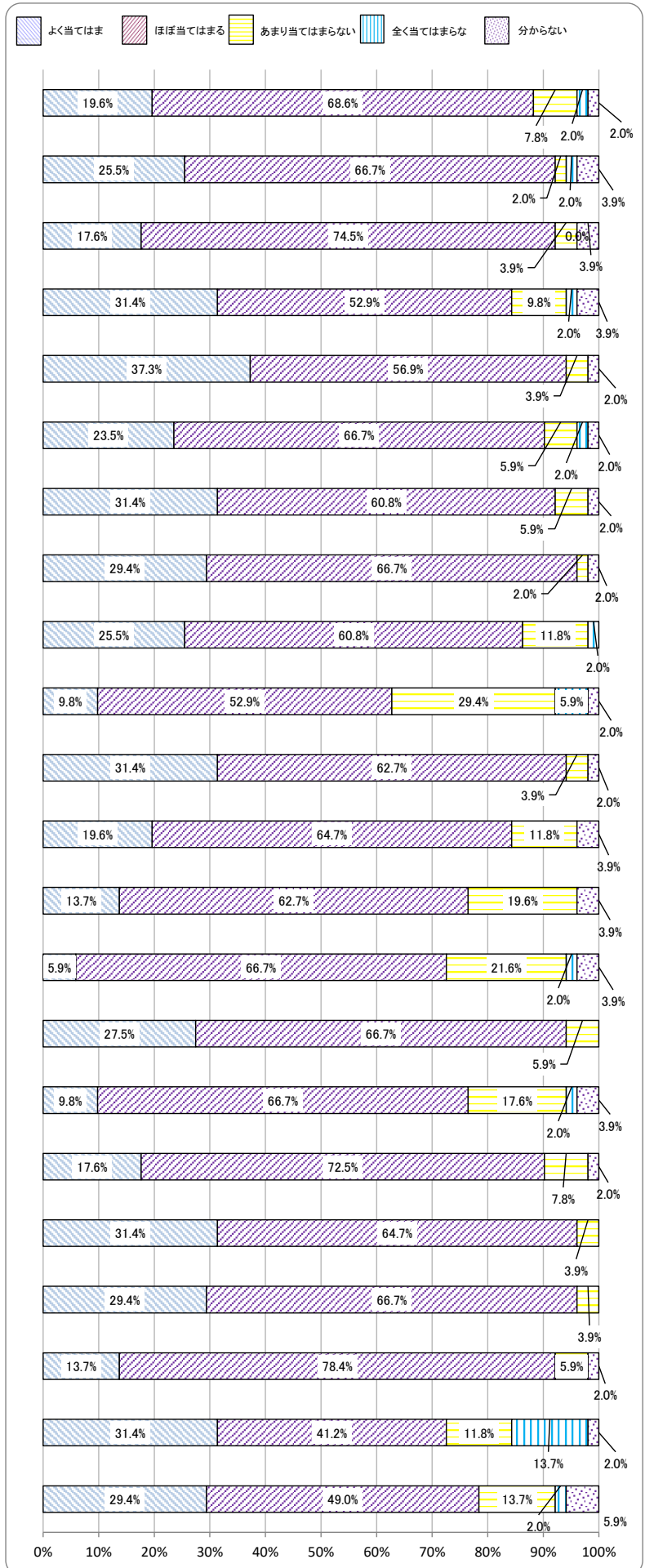
分類	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の教員は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	お子様が本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の教員は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校の教員は、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	お子様の進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、お子様の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の教員は、お子様の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	お子様は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	お子様は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	お子様は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	私は、本校PTAの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	お子様は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、お子様の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的生活習慣	本校の教員は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	本校の教員は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、お子様の学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	お子様の昨日の家庭学習時間は？A…3時間以上、B…2時間以上3時間未満、C…1時間以上2時間未満、D…1時間未満
	満足度	お子様を、修明高校（本校）で学ばせて良かった。



学校評価に関する調査結果（教職員用） 令和3年11月5日～17日実施

有効回答数 51名 回収率 100%

分類	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	私は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫を心掛けている。
	基礎・基本の定着	私の授業では、生徒の進路実現に必要な基礎・基本の定着を意図している。
	個に応じた指導	私は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校では、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	本校では生徒の進路希望実現に役立つ情報を適切に提供している。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、生徒の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校では、生徒一人一人の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	生徒は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたり先生のとこに聞きに来たりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等において、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	生徒は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	生徒は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	本校の保護者は、PTA活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信している。
共生への視点	部活動等	生徒は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事によって、生徒の人間性や社会性を成長させる機会を作っている。
	基本的な生活習慣	私は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	私は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、生徒の学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	課題を出す頻度は？ A…毎週、B…考查前、C…毎学期、D…ほとんど出さない
	満足度	私は、修明高校（本校）に勤務して良かった。

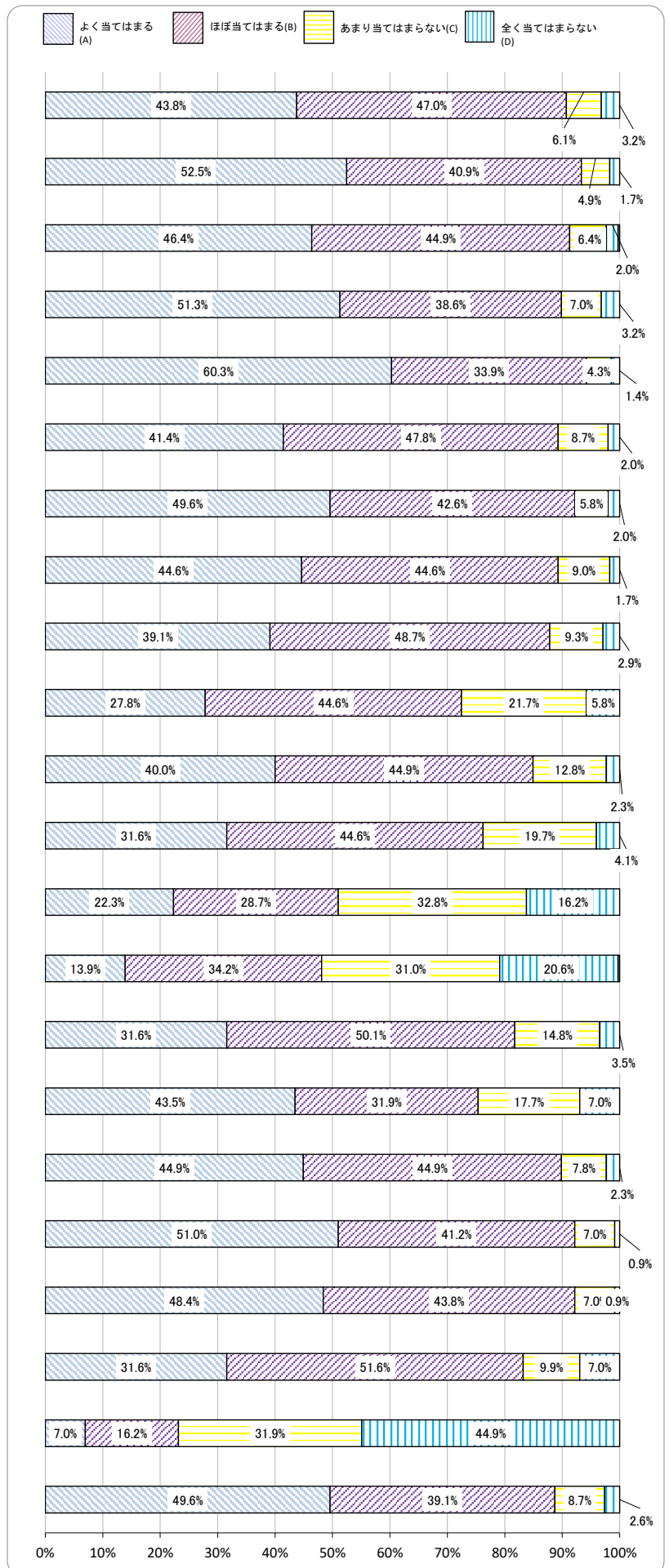


学校生活に関する調査結果（生徒）

令和3年11月5日～19日実施

有効回答数 343名 回収率98.6%

分野	内 容	項 目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の先生方は板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の先生方は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	先生方は各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、自分の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の教員は、自分の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自ら設定した課題を探求しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりする。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域との連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	P T A 活動への参加	あなたの保護者は、本校P T Aの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	自分は生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、自己の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的生活習慣	先生方は生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	先生方は社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	昨日の家庭学習時間は？ A・・・3時間以上、B・・・3～2時間、C・・・2～1時間、D・・・1時間未満
	満足度	修明高校（本校）で学んで良かった。



令和3年度学校評価アンケート 意見・要望等に対する回答

自由記述には下記のような多くの意見をいただきました。なお、△の意見は、学校としての回答を掲載しております。

本アンケートについて

△これは保護者のアンケートではないと思います。(保護者)

△アンケートなのに名前を求められるのはいかがでしょうか。(保護者)

→アンケートの質問項目については、保護者、生徒、教職員が同じ観点で評価してもらえるように設定しております。昨年度も同様のご意見があり、質問内容を改善いたしました。保護者の皆様にとって回答しづらいものも含まれていたかもしれません。引き続き質問内容の検討をまいります。また、学校評価のアンケートは、本校のよりよい教育のために行うものであり、記名を原則としておりますことをご了承ください。

情報発信について

△本校のいい活動をもっと地域に発信するといいかないと思いました。(保護者)

→本年度より、文理科・農業科・商業科で発行する紙媒体の広報誌を町内各所及び近隣の中学校に配布しております。また、9月より「広報たなぐら」にも定期的に本校の取組を掲載していただけることになりました。今後は、ご意見を踏まえて、さらなる情報発信の工夫をまいります。

△私も仕事をしていて、子供も学校の事は言ってくれないのでわからないことが多いです。願いは無事に学校を卒業できるように頑張してほしい。(保護者)

→本校では、学校評価のアンケート等を踏まえて、これまでの紙媒体(学年だより、学級通信等)に加えて、保護者向けの一斉メールの活用、ホームページの充実を図っております。また、修明高校公式 SNS (Twitter と Instagram) を開設し、学校の情報をいち早くお伝えしております。本校から発信する情報に積極的に触れていただければ幸いです。

△Web 上の高校ランクをあげて欲しいです。現実であれば、しょうがありませんが生徒を見ていると、そんなに酷いような気がしません。(要望です) (保護者)

→インターネット上では、学力などの一面的な観点や、口コミなどの主観的な観点から学校のランキングを掲載しているものもあります。これらは、学校によって判断するものではありません。今後とも学力向上はもちろん生徒の人間的な成長を促し進路希望実現に向けての取組を積み重ねていくとともに、本校の取組を外部にも情報発信まいります。

生徒の学習や学校生活について

○自宅学習まで残りわずかとなりました。一日一日を大切にクラスメートとたくさんの思い出を作ってもらいたいと思います。(保護者)

△テスト前だけではなく、月に2回のペースで文理部を設置して欲しい。(生徒)

→本校では、文理科に限らず、学力向上や資格取得に向けて、しっかりと学習に取り組んでもらえるよう計画的に指導しております。今後も、それぞれの生徒の皆さんの学ぶ意欲を大切にして学習指導に取り組んでまいります。

生徒主体の活動について

△地域課題探究活動を取り入れるべきだと思う。(生徒)

→「地域への貢献」は、本校の運営ビジョンに掲げる4Sの一つとして、今後も取組を推進してまいりたいと考えております。また、生徒会でも、地域の病院訪問や幼稚園への絵本提供、サステナブル未来予想図の立案など、地域課題の解決に向けた取組を少しずつですが、実施しております。引き続き、生徒の皆さんの御協力をお願いいたします。

△生徒達の考えで企画、運営的な行事があっても良いのかなと思います。

我が子だけでなく、学校生活に充実感が無さすぎるのは問題だと思います。

高校生のエネルギーを抑えた生活に徹底するのではなく、各科(コース)に応じた、生徒ならではの企画などがもっとあれば良いと思います。(保護者)

△今年も学校行事が少なかったので、かわりに何か思い出に残るような事をしてほしかった。(保護者)

△行事が少ない(生徒)

→本校の校訓にも「自律」を掲げており、本来であれば、生徒が主体的に活動できる環境が理想かと思えます。今年度は生徒から「行事をやりたい」という意見もあった一方で、逆に感染症拡大の恐れから「行事が心配だ」という意見があったことも事実です。様々な意見を尊重し取り入れつつ、生徒の安全を第一に考えながら、学校行事が充実できるよう改善してまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

先生方の対応について

○入学した時は友達関係に不安を持っていましたが、クラスに好きな話を共有出来る子供が出来て繋がって行き今は高校生活を楽しんでいる様子が家庭でも分かります。学校に親が行く事は多くはありませんが学校と先生が子供に寄り添っているからだと感じ取れます。卒業までご指導の程お願いします。(保護者)

△先生の生徒を見下すような態度をやめた方がいいと思います。(生徒)

△子供と先生で話し合いをしたことがあるようですが子供が納得のいく説明、指導をしてくださった先生が1人もいません。まず、見つめ直さなければ大人の方かなと感じました。(保護者)

△生徒の意見もしっかり聞いてほしい。学校運営に大事な事ではないかと思う。(保護者)

→学校生活のあらゆる面において、教員と生徒の関係性が何より大切であると考えております。学校生活で何か気づいた点がありましたら、担任、生徒指導部、部活動顧問等へご連絡をいただきますようお願いいたします。

校内の環境に関して

△教室をもっと居心地のいい場所にしてほしい(生徒)

→大規模改造工事により、現段階で3棟と2棟の一部が改修されました。教室棟(1棟)についても、令和3年~令和4年にかけて改修を行い、照明・サッシ・エアコンなどを含め、内外装を一新いたします。工事期間中、何かとご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力、よろしく申し上げます。

△図書室や自習室の開放時間をもっと長くして欲しいです。(保護者)

→図書館の開放時間については、学校の規程により、開館時間を午前8時15分から午後16時35分と定めており、この時間帯を基本とした開放となっております。なお、各教室については、機械警備の都合上、原則として18時30分までには下校することとしておりますが、それまでは担任の先生の許可のもと教室で過ごすことは可能です。

校則に関して

△スマートフォン使ってokにしてほしい。(生徒)

→スマートフォンの使用については、担当教員の許可のもと使用を認めています。緊急の場合やどうしても使用しなければならない時には、教員に申し出てください。使用をすべて自由にすることは、学習活動に

悪影響が出るのが予想されるため、現時点では考えていません。

△比較的不安に感じるだけの校則は廃止して欲しい。(生徒)

→本校では、修明高校の生徒としての責任を自覚し、品位を保つため、服装・頭髪規定を設けております。しかしながら、合理性を欠くような校則や無意味な校則は、どのようにしていくべきなのか検討します。具体的にどの校則について不安に感じるのかを知らせてほしいと思います。

進路指導に関して

○一人一人の進路実現に向け協力してもらっているので感謝したい。(生徒)

○実業系高校クラスに在籍したにも関わらず、全く領域違いの進路を選択した私達に様々対応をして下さり感謝申し上げます。(保護者)

○クラス担任の先生や沢山の先生からも勉強や就職などの丁寧な指導を受け、楽しい学校生活を送れていることに感謝しています。(保護者)

○先生方が進路実現に向け熱心にご指導されています。受験まであと少しですが…全力で頑張りたいとおもいますので、ご指導宜しくお願い致します。(保護者)

△資格の幅を広げて欲しい。就職に有利な資格を科にとられず積極的に生徒に取るように指導して貰いたいです。(保護者)

→本校では、各科で積極的に資格取得を推進し、課外授業などを実施しています。また、英検や漢検など全学科共通で受験可能なものもあります。商業関係の部活動等を通して他学科の生徒が簿記検定・電卓検定・ビジネス文書検定等にもチャレンジしています。

△一人一人の希望の進路にあった接し方をしてくださったら、いいと思います。(保護者)

→進学希望の生徒に対しては、三者面談・課外授業・個別指導を通じて「進路希望が実現できるように指導をしております。また、就職希望の生徒に対しては、進路アドバイザーによる面談(2年次1回、3年次1回)、地元企業の説明会(2年次2月)への参加、Classroom(ウェブによる連絡ツール)を通じての情報提供、面接指導など、生徒が自分の進路を決定する上での援助を行っております。

△進路にあたり、大学等の指定校推薦校一覧を配付していただけていたら、良かったなあ。と思いました。(志望するしないに関わらず参考にはなるので。)(保護者)

→指定校推薦の情報は、校内での取扱いを厳重に管理しなければならない情報なので、外部に出すことは難しくなっています。指定校推薦を希望する生徒は担任を通して閲覧することは可能ですので、担任にご相談ください。

部活動について

○部活動に入り3年間やり通し、指導者から技術だけでなく、精神面や身体強化など沢山のことを学ぶことができたようです。(保護者)

△学業と部活の両立が一番なのかもしれないが、どちらに重きを置くべきか又どちらを協力した方が良いか分からなく場面が多々ありました。子供に保護者にもうまく導いていただければありがたいです。(保護者)

△家庭のことより部活動が優先されている。優先させるのは部活動ですか。(保護者)

→今年3月に県教育委員会から「部活動の在り方に関する方針」が示され、生徒や学校の実態に応じて、効果的、計画的な指導により、持続可能な運営体制の在り方が求められております。本校におきましては、各部活動の顧問が年間及び月間の部活動計画を立案し、休養日を設定するようしております。ご家庭の都合や学業の不安等がありましたら、顧問にご相談ください。